

■客員研究員研究

自治体の入札・契約におけるポジティブ・アクション評価
による男女共同参画推進に関する比較研究

湯浅 壱道

(財)アジア女性交流・研究フォーラム 客員研究員

[著者紹介]

湯浅 壘道 (ゆあさ はるみち)

九州国際大学副学長

[主要業績]

『インターネットの効率的学術利用』(共編著)(成文社、2004年)

『電子化社会の政治と制度』(オブアワーズ、2006年)

『憲法学へのいざない』(共編著)(青林書院、2007年)

『学びとコンピュータハンドブック』(共編著)(東京電機大学出版局、2008年)

「自治体におけるポジティブ・アクション評価の現状と課題」『アジア女性研究』17号(2008年3月)97-105頁

"Japanese Americans and Politics in Hawaii: A Case of Patsy Takemoto Mink". *Journal of Asian Women's Study*. vol.16, pp67-74 (2008).

"A Consideration of the 2007 Upper House election in Japan". *Journal of Asian Women's Study*. vol.16, pp97-102 (2008).

自治体の入札・契約におけるポジティブ・アクション評価による男女共同参画推進に関する比較研究

2009年3月

発行 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号

北九州市大手町ビル3F

TEL:093-583-3434 FAX:093-583-5195

E-mail:research@kfaw.or.jp; http://www.kfaw.or.jp
